

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第93期中間期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、前期に引き続き新型コロナウイルス（COVID-19）への感染拡大防止策を柔軟に実施するとともに、電子部品や樹脂製品を中心とした部品調達難、コンテナ不足や港湾混雑による物流混雑乱下のなか、リチウム電池生産ラインの増設をはじめとした需要増への対応に加え、放電性能を向上させた車載アクセサリ市場向けニッケル水素電池の量産出荷や長期保存が可能なスマートメータ・セキュリティ機器用途向け高容量円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池ならびに交通インフラ市場向けニッケル水素バッテリーシステムの販売を開始いたしました。

当中間期の経営成績につきましては、事業全体では前期に実施したアルカリ乾電池の海外製造子会社の株式譲渡による売上減の影響があった一方で、ニッケル水素電池とリチウム電池、設備関連ビジネスならびに、電子事業におけるモビリティ用途向けの各種モジュールが増加したことにより、売上高は前年同期に比べ5億94百万円増の305億70百万円となりました。営業利益は全体の売上増加ならびに為替の好転により前年同期に比べ4億28百万円増の13億92百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ5億92百万円増の13億2百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、関係会社清算益4億59百万円、関係会社株式売却益13百万円の特別利益を計上したことにより、前年同期に比べ9億39百万円増の14億41百万円となりました。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただきたいと思います。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

下期以降の見通しにつきましては、原材料価格の高騰や部品調達難などの厳しい事業環境が一層強まることを予見していることから、通期連結業績予想を2021年4月27日発表の公表値に据え置いております。一方で、このような事業環境下におきましても、中期事業計画「R1」の達成に向け、現行ビジネスと利益ある成長の確立を目指し、電池事業においては事業全体で様々なリソースの最適化を図ることにより新たな価値の創出を行なっていくとともに、電子事業においてはパートナーとの連携強化および新規開拓を推し進めることで、利益の拡大を図り、事業価値向上に繋げてまいります。

新事業のSMD対応小型全固体電池につきましては、電子事業の技術の活用やパートナーとの連携強化による製品力の強化を加速させるとともに、水素/空気二次電池やニッケル亜鉛電池につきましても、実用化に向けた開発のさらなる加速とビジネスプランの策定を進めてまいります。また、「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、全てのステークホルダーの方に満足いただく「And Game」の実現のため、従業員各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成を加速させ、企業価値の向上に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021年12月



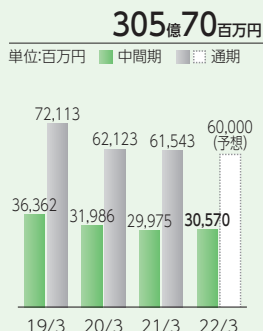
代表取締役社長
長野 良

Profile プロフィール

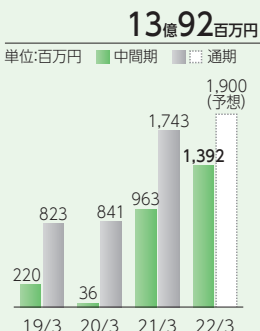
1961年 9月 7日生まれ
1985年 4月 富士通㈱入社
2019年 4月 当社執行役員常務
2019年 6月 当社代表取締役社長

連結決算ハイライト

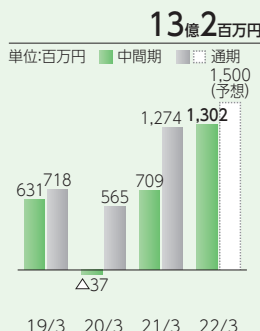
売上高



営業利益



経常利益又は経常損失(△)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)

